

令和3年度 美術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「美術 1」 (光村図書出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

表現形式の特性を生かして形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練る「絵画・彫刻」、表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練る「デザイン」、美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深める「鑑賞」の分野について学習します。

2 学習の到達目標

芸術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞ワークシート 鑑賞態度・姿勢
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術の授業について	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書その他の資料、生徒過去作品等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術 I」の学習イメージを持つ。	○			○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	ワークシート 学習活動の様子
	迷路パネルの壁掛けを作ろう	【デザイン】【鑑賞】 ・過去作品の鑑賞 各種特徴的な発想、デザインの作品を鑑賞する。 ・アイデアスケッチ 与えられた条件の中で独創性のあるテーマを決め、それに沿ったデザインを各自考える。 ・制作 2×8mm角ヒノキ棒、ベニヤ合板、アクリル板の加工を行い、アクリル絵の具による着色により作品を仕上げる。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	○			○	a: 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c: ヒノキ棒の加工を巧みにを行い、デザインの目的、機能、美しさなどを考え、創造的な表現方法を工夫して表している。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

2 学期	立体的なトリックアートを作ろう	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・資料の鑑賞 錯覚や視覚のトリックを利用した作品として、教科書やその他の資料、過去作品を鑑賞する。 ・アイデアスケッチ 各自に様々な建物の資料(デジタル画像も含む)を集め、発想を練る。 ・制作 視点を変えることによって絵が変わって見える、立体的な作品の制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	○			○	a: 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性を理解し、形や色彩、明度などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c: 目的、美しさなどを考え、巧みに描画、着色し、創造的な表現方法を工夫して表している。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	缶バッジを作ろう	【デザイン】【鑑賞】 ・資料の鑑賞 実際の市販製品やインターネットや書籍に載っている写真他、缶バッジの様々な資料を鑑賞し、目的を持ったデザインを理解する。 ・アイデアスケッチ どういった設定でどんな目的で使うものとするのかを決めたうえで、使う文字やイラスト等を考え全体のイメージを工夫する。 ・制作 色鉛筆、水性ペン、カラーインク等で原画を描き、缶バッジメーカーを使って仕上げる。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	○			○	a: 創造活動の喜びを味わい、表現方法やその文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b: 缶バッジの特性を踏まえ感性や想像力を働かせ、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c: 用具(缶バッジメーカー)の使用特性や機能などを理解し、技能を身に付け、意図に応じた効果的な表現方法を工夫して表している。 d: 作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

